

2010年12月12日
名古屋市アーチェリー協会
理事長 倉地 建治

アーチェリーのルールとマナーについて 再徹底のお願い

いつも当協会の運営にご協力いただきありがとうございます。さて、東京での死亡事故から1年が経過しました。この1年の間アーチェリーのルールとマナーについて、当協会においても様々な啓発活動を行なってまいりましたが、1年経過して最近ルールとマナーに対する意識の希薄が感じられます。

- ・ 矢先が上空に向いた状態で、ドロ잉している方を散見する。
- ・ 射場管理者から紛失報告のない矢が発見された旨の連絡が入る。
- ・ 射場設計上想定していない場所に、矢が刺さった。

昨年配布させていただいた、「アーチェリーのルールとマナー」を再度配布させていただきますので、今一度皆さんの日頃の行動を今一度見直して頂き、危険な事をしていないか考えて頂ければと思います。

皆さんの1つ1つの行動が、今後「アーチェリー」というスポーツを楽しく続けていく上で重要になっていきますので、決められている事は必ず守って頂きますようお願い致します。

以上

アーチェリーのルール&マナー

アーチェリーを行なう時は、次のことを必ず守るようにして下さい。ルールを守る限りアーチェリーは安全なスポーツです。ルール&マナーをしっかり守って、気持ち良くアーチェリーをしましょう。

服装

- ・ スtringがボタンやポケットに引っ掛からないよう、シンプルな服装にする。
- ・ アームガード、タブまたはグラブを必ず使用する。
- ・ 髪の長い人は束ねるなどして、Stringに髪が絡まないようにすること。

装備

- ・ 行射を始める前に日常点検を行なうこと。(特にリム、String、矢)
- ・ ドローイングすると、レストから落ちてしまいそうな短い矢を使用しない。
- ・ いかなる場合でも、異常がある装備を使用してはならない。

危険防止

- ・ いかなる場合でも、人に向かって弓を引かない。(矢の有無は関係ない)
- ・ シューティングライン前方に人がいる時は、弓に矢をセットしない。(衣服などにStringが引っ掛かって暴発する可能性がある)
- ・ 空射ち(矢をつがえずにリリースすること)をしない。
- ・ 矢を上空に向けて引き分けをしない。
- ・ シューティングラインより前方に人がいないか確認して行射すること。
- ・ セットアップ・ブレドロー・ドローイング時に、必要以上に弓を上を持ち上げない。(地面に対して矢が水平の状態になるようにドローイングすること)
- ・ ドローイング時にレストから矢が落ちたら、必ず引き戻しをすること。
- ・ シューティング中に違和感を感じた時は、必ず引き戻して確認すること。
- ・ 他の人が射っている時に、シューティングラインから前方に出ない。
- ・ 射っている人のすぐ近くに寄らないこと。
- ・ 行射を管理(信号機、ブザー、ホイッスル、声など)している時は、その人の指示に従うこと。
- ・ 矢を紛失したことが分かったときは、すぐに射場管理者に届け出ること。

矢取り

- ・ 矢を抜く時は、後ろに人がいないか確認すること。
- ・ 矢を抜く時は、標的(たたみ)をしっかり押えること。
- ・ 矢を持ったまま、歩いたり、走ったりしないこと。(必ずクイバーに収める)
- ・ 的の後方にそれた矢を探す時は、的の前にクイバーを置いておくこと。(人がいる目印となる)

マナー

- ・ 許可無く他人の弓具に触れない。
- ・ 先に射場にいる人に、あいさつをすること。

その他

- ・ 射場管理者の指示には必ず従うこと。
- ・ 射場のルールがある場合は、そのルールも理解し必ず守ること。
- ・ 上記以外でも危険と思われる行為、他の人が不快に思う行為をしないこと。